

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力	育てたいとの関わり	基本施策	本年度新たな学校の重点		具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点・郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む	①深い学びを実感できる授業への挑戦 ②「なりたい自分」へ向かう個の見届け ③地域との協働・地域社会への発信 ④生き生きと働ける学校づくり	対話を通して 自分自身の考えをつくり 動き出す力	対話を通して 自分自身の考えをつくり 動き出す力	① 考えをつなぐ「学びづくり」	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり	対話の充実に焦点をあてて授業をつくり、児童が主役となり学び、児童にとって深い学びとなるよう指導できたか 振り返りの場を位置づけたり指導をしたりして、児童が深い学びを実感できたか	B B	【分析】 ・授業の各過程で対話活動を取り入れ、自分の考えを伝えたり仲間の考えを受け止めたりすることができた。 ・本郷小とオンライン合同授業を各学級1時間以上実践し、多様な考えにふれる機会をもつことができた。 【改善点】 ・授業の終末に振り返りの場を位置づけたが、記載内容まで吟味できていないので、深い学びを実感するための記述の在り方を求めていきたい。		
				② 「なりたい自分」へ向かう取り組み	「なりたい自分」へ向かう取り組み	担任や保護者との対話から「なりたい自分」を決め、自己評価に加え教師や仲間の認め、家族の励ましから自分を見つめ、次の取り組みに向かえるよう指導できたか	A	【分析】 ・各教室の背面に一人ひとりの目標や目的を「なりたい自分」として掲示し、定期的に教師や保護者と振り返ったり目標をたてたりすることができた。		
				② 思いや願いからつくる学級・学校の楽しい活動	思いや願いからつくる学級・学校の楽しい活動	委員会や縦割り班活動、学級活動において、児童が主体となり楽しい活動を考え、動き出すよう指導できたか	A	・全職員で児童の声や記述に注視し、気になる言動があったら声をかけ、複数の教職員で素早く対応することができた。		
				② 一人ひとりの居場所がある安心・安全な学校	一人ひとりの居場所がある安心・安全な学校	スマイルサポーター制度等を活用し、児童一人ひとりと対話をする中で知り得た情報を関係職員で共有し、チームで早期対応や計画的な支援にあたることができたか	A	【改善点】 ・アンケート調査では、自己肯定感が低い児童が数名いたため、相互評価を取り入れ自他のよさを見つめる機会をもちたい。		
				③ 「元氣をつなぐ」郷土教育・防災教育	「奥飛驒パラダイス計画」を核とした、多様な考えに学ぶ郷土教育	地域の方から奥飛驒温泉郷の現状を学ぶとともに、自分や学級の学びを他者へ発信することができたか	B	【分析】 ・校内の防災訓練では、自分で考えて行動する内容を多く取り入れることができた。また、市が主催する地域の防災訓練において、総合で学んだことを展示する取り組みも行った。		
				③ 自分の命は自分で守る防災教育	自分の命は自分で守る防災教育	一人ひとりが考え行動する場面を位置づけた訓練を実施し、振り返る学習ができたか	A	【改善点】 ・学年ごとに学んできた奥飛驒温泉郷の「福祉」「防災」「森林」「芸能」等について、複式学級を編成するにあたって、どのように学習を進めるか検討する必要がある。		
				④ 事実で語り、学び合い支え合う職員集団	事実で語り、学び合い支え合う職員集団	構想会議や日常での職員間の対話で、児童の姿をもとに次の目標を立てたり、共通理解のもと教育活動にあたることができたか	A			

学校運営協議会における主な評価内容

ICT活用の一層の推進、奥飛驒パラダイス計画の充実、命を大切にされた教育活動の継続